

下記の4項目の収入のうち、令和2年中の収入が令和元年分の収入と比較して 20%以上減収の見込みとなる項目に記入してください

世帯の主たる生計維持者の、令和2年中に20%以上減収が見込まれる収入の種類、現状の収入額、その収入を得た期間、保険、損害賠償等による補填額

世帯の主たる生計維持者の、の収入に対応する令和元年分の収入額

各項目の と への記入で、令和2年中の連続した3か月以上の期間を記入し、に該当期間での収入額を記入してください。

には、保険、損害賠償等による補填額がある場合に、その額を記入して下さい。

記入した数値には、それぞれその額、又は月数を証明する書類をご用意ください。

令和2年中の収入予測額

1-A 給与収入		令和2年 月から 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月		令和元年分の収入額	
令和2年 月から 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月		円		1-B 給与収入 円	
保険、損害賠償等による補填額 円					
2-A 事業収入		令和2年 月から 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月		2-B 事業収入 円	
令和2年 月から 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月		円			
保険、損害賠償等による補填額 円					
3-A 不動産収入		令和2年 2月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月		3-B 不動産収入 円	
令和2年 2月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月		400,000円 円		3,000,000円	
保険、損害賠償等による補填額 100,000円					
4-A 山林収入		令和2年 2月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月		4-B 山林収入 円	
令和2年 2月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月		200,000円 円		900,000円	
保険、損害賠償等による補填額 50,000円					

$$\frac{\text{令和2年分の稼働月数に合わせた令和元年分収入額}}{\div 12ヶ月 \times \text{円}} = \text{円} \rightarrow \frac{\text{円} - (\text{円} + \text{円})}{\div} = 1$$

令和2年の給与収入が令和元年に比べて減少した割合 (給与収入)

に、確定申告書の写し、源泉徴収票などから令和元年分の該当収入額を記入して下さい。

$$\frac{\text{令和2年分の稼働月数に合わせた令和元年分収入額}}{\div 12ヶ月 \times \text{円}} = \text{円} \rightarrow \frac{\text{円} - (\text{円} + \text{円})}{\div} = 2$$

令和2年の事業収入が令和元年に比べて減少した割合 (事業収入)

**例1**  $3,000,000 \div 12ヶ月 \times 4 = 1,000,000円$   $\rightarrow \frac{1,000,000 - (400,000 + 100,000)}{1,000,000} = 3.05$

令和2年分の稼働月数に合わせた令和元年分収入額

令和2年の不動産収入が令和元年に比べて減少した割合 (不動産収入)

**例2**  $900,000 \div 12ヶ月 \times 4 = 300,000円$   $\rightarrow \frac{300,000 - (200,000 + 50,000)}{300,000} = 4.1667$

令和2年分の稼働月数に合わせた令和元年分収入額

令和2年の山林収入が令和元年に比べて減少した割合 (山林収入)

1給与収入	1	$\times 100 =$		%
2事業収入	2	$\times 100 =$		%
3不動産収入	3	$\times 100 =$	50	%
4山林収入	4	$\times 100 =$	16.67	%

例1 該当する  
例2 非該当

減少の割合が 20%以上の項目があれば徴収猶予の申請ができます。